

第80回国民スポーツ大会山形県予選会ソフトテニス競技 実施要項

1. 期 日 (成年) 令和8年7月 4日(土) 午前9時開会式(8時～練習)
(少年) 令和8年7月11日(土) 午前8時30分開会式(7時～練習)
(予備日) 令和8年7月12日(日)
2. 会 場 (成年・少年) 7月4・11・12日 山形市総合スポーツセンターテニスコート
(成年最終選考会) 7月5日(日) 山辺町民テニスコート
3. 種別及び組織
 - (1) 少年(男・女)、成年(男・女)の4種別とする。
 - (2) 少年は中学3年生から高校3年生までとする。
※ 但し、県中学総体に参加する選手は参加できない。
 - (3) 少年の出場割当参加ペア数は下記の通りとする。
高校総体上位男女とも32人、山形地区47ペア、置賜地区24ペア
新庄地区12ペア、鶴岡地区23ペア、酒田地区16ペア
県代表中学生男女8ペア以内
 - (4) 地区内における中・高校生の選出方法は各地区に一任する。県大会ストレートの中学3年生の選出方法は今年の都道府県対抗の県代表選手を中心とし強化部に一任する。
 - (5) 成年の種別については参加ペア数を制限しない。
4. ルール ソフトテニスハンドブックによる(7ゲームマッチ)
5. 参加資格
 - (1) 参加資格
 - a. 2024年開催の第78回又は第79回(都道府県大会及びブロック大会を含む)において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、2024年開催の第78回又は第79回と異なる都道府県から参加することはできない。
 - (a) 成年種別
 - (i) 学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者
 - (ii) 結婚又は離婚に係る者
 - (iii) ふるさと選手制度を活用する者
 - (b) 少年種別
 - (i) 学校教育法第1条に規定する学校に在籍する中学3年から高校3年までの生徒でこの申込締切の1年前から同校に在籍している者
 - (ii) 一家転住に係る者
 - (2) 所属都道府県
 - a. 成年種別
 - (a) 居住地を示す現住所
 - (b) 勤務地
 - (c) ふるさと
 - b. 少年種別
 - (a) 居住地を示す現住所
 - (b) 学校教育法第1条に規定する学校の所在地
 - (c) 勤務地

*居住地を示す現住所、「勤務地」のいずれかから参加する場合は、2026年4月30日以前から大会終了時(2026年10月18日)まで、引き続き当該地に、それぞれ居住又は勤務していなければならない。
但し、「ふるさと」を選択する場合はこの限りではない。

- (3) 選手の年齢基準
a. 少年は2008年4月2日から2012年4月1日までに生まれたもの。
b. 成年は2008年4月1日以前に生まれたもの。
- (4) 「ふるさと」とは、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかが山形県。
a. この場合、別紙「ふるさと登録届」を山形県スポーツ協会会長と山形県ソフトテニス連盟会長宛てに1部ずつ作成し、参加申込と一緒に期日まで提出すること。
b. 一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。

6. 使用球 男子 アカエム・女子 ケンコー

7. 参加申込 (1) 少年の部の申込書は、高体連HPからダウンロードしメールで申込むこと。
(2) 参加料は当日払い。
(3) 申込先と申込締切日
- ・ 少年 6月26日(金)締切
 - ・ 高体連HPから申込書をダウンロードし、高体連は各地区専門部委員長、ストレートの中学生3年生は県連強化部で順位をつけ、一括して県高体連専門部委員長へメールで申し込むこと。
地区予選を通過した中学生3年生は高体連の各地区専門部委員長と一緒に申込みをすること。

・ 問い合わせ先 山形県立山辺高校 加藤 恭彦 宛
(ykst.secretariat@gmail.com)

- ・ 成年 6月19日(金)締切
メールにてお願いします (FAX・郵送禁止)
山形県ソフトテニス連盟競技委員長
斉藤 誠 宛
E-mail: s-mako@khaki.plala.or.jp
携帯電話 090-4639-8071 (平日は17時以降)

8. 参加料 (1) 成年1名につき1,500円
(2) 少年1名につき1,000円

9. 表彰並びに選考
- (1) 各種別とも第1位から第3位まで賞状を授与する。
 - (2) 国民スポーツ大会、東北総合スポーツ大会への派遣選手は、山形県ソフトテニス連盟強化委員会の選出方法で決定する。
なお、選出方法の詳細は山形県ソフトテニス連盟ホームページで公表する。

10. その他 (1) 参加者はゼッケンを付けて出場すること。
(2) 参加者は審判員のワッペンを携行すること。
(3) 少年の部のみベンチコーチを認める。(2級審判有資格者が望ましい)